

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	アフレコ I	科目コード	9420
シラバスコード	196D5D-9420		
授業時数/週	2時間		
開講年次・学期	1年次・通期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	大橋正幸		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程		連携企業等	
備考			

■科目詳細情報

授業概要	アニメーションや映画の吹替えを、オリジナルのキャラクターや映像を題材に、一年次は主に声の演技を通じて、その楽しさを理解し、憧憬を促す基本科目。
到達目標（前期）	①「ゲーム」「アニメーション」「外国映画（ドラマ）」等 音声による演技表現の基礎全般
到達目標（後期）	②正しいスタジオ収録マナー ③マイクワーク等 収録ロケーションの基礎理解
授業方法	実習、演習、視聴
実践的教育の内容	担当教員（大橋）：大学で演劇を専攻～卒業TDLエンターテインメント部を経て、イベント事業監修～プロ劇団所属。後に芸能事務所に在籍し、VP/ナレーション/ドラマ/WEBアニメ等の現場と学校法人勤務を15年継続、声優/芸能等の業界経験を積み現在に至る。●理論～実践の両面から、多角的に指導を施し 初級～応用へと着実にステップアップを図る。（※テキストは現場仕様～オリジナル迄 多岐に亘る）
評価方法（前期）	①科目別出席率：50% ②期末「実技査定」各項目（発声/滑舌/調音/テンポ/表現力）各10点の合計点：50%以上 ・①+②=成績評点
評価方法（後期）	（前期）と同じ
授業外における学修	毎週末（金曜日） 実技演習の課外補講を実施し、4半期に1回「合同品評会」等を催す等 ● 検討段階
授業計画（前期）	<p>第1週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（I）「TVアニメーション『NARUTO』part1」シーン作り ・憧憬のある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。（第1回目） <p>第2週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（I）「TVアニメーション『NARUTO』part2」シーン作り ・憧憬のある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。（第2回目） <p>第3週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（I）「TVアニメーション『NARUTO』part3」シーン作り ・憧憬のある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。（第3回目） <p>第4週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（I）「TVアニメーション『NARUTO』part4」シーン作り ・憧憬のある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。（第4回目） <p>第5週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（I）「TVアニメーション『NARUTO』part5」シーン作り ・憧憬のある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。（第5回目） <p>第6週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（II）「TVアニメーション『イナズマイレブン』part1」シーン作り ・群衆演技を通じてマイクワークと脚本プロットを研究する。（第1回目） <p>第7週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（II）「TVアニメーション『イナズマイレブン』part2」シーン作り ・群衆演技を通じてマイクワークと脚本プロットを研究する。（第2回目） <p>第8週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（II）「TVアニメーション『イナズマイレブン』part3」シーン作り ・群衆演技を通じてマイクワークと脚本プロットを研究する。（第3回目） <p>第9週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（II）「TVアニメーション『イナズマイレブン』part4」シーン作り ・群衆演技を通じてマイクワークと脚本プロットを研究する。（第4回目） <p>第10週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（II）「TVアニメーション『イナズマイレブン』part5」シーン作り ・群衆演技を通じてマイクワークと脚本プロットを研究する。（第5回目） <p>第11週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（II）「TVアニメーション『イナズマイレブン』part6」シーン作り ・群衆演技を通じてマイクワークと脚本プロットを研究する。（第6回目） <p>第12週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（II）「TVアニメーション『イナズマイレブン』part7」シーン作り ・群衆演技を通じてマイクワークと脚本プロットを研究する。（第7回目） <p>第13週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（II）「TVアニメーション『イナズマイレブン』part8」シーン作り ・群衆演技を通じてマイクワークと脚本プロットを研究する。（第8回目） <p>第14週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（III）「外国映画『トランスフォーマー』part1」吹替シュミレーション ・母国語（英語等）のボイスオーバー/特徴あるキャラクターの声質研究（第1回目） <p>第15週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（III）「外国映画『トランスフォーマー』part2」吹替シュミレーション ・母国語（英語等）のボイスオーバー/特徴あるキャラクターの声質研究（第2回目） <p>第16週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（III）「外国映画『トランスフォーマー』part3」吹替シュミレーション ・母国語（英語等）のボイスオーバー/特徴あるキャラクターの声質研究（第3回目） <p>第17週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期「実技査定」（発声/滑舌/調音/テンポ/表現力）●全員で聴取～採点 ・自他の評価に対応する聴力/各指導内容の理解力等を養う（第1回目）

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	・台本研修（Ⅳ）「劇場アニメーション『風の谷のナウシカ』Part1」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目）
	第19週	・台本研修（Ⅳ）「劇場アニメーション『風の谷のナウシカ』Part1」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目）
	第20週	・台本研修（Ⅳ）「劇場アニメーション『風の谷のナウシカ』Part1」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目）
	第21週	・台本研修（Ⅴ）「劇場アニメーション『エヴァンゲリオン～破～』Part1」シーン作り（会話研究②） 「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目）
	第22週	・台本研修（Ⅴ）「劇場アニメーション『エヴァンゲリオン～破～』Part2」シーン作り（会話研究②） 「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目）
	第23週	・台本研修（Ⅴ）「劇場アニメーション『エヴァンゲリオン～破～』Part3」シーン作り（会話研究②） 「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目）
	第24週	・台本研修（Ⅵ）「TVアニメーション『黒子のバスケ』Part1」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目）
	第25週	・台本研修（Ⅵ）「TVアニメーション『黒子のバスケ』Part2」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目）
	第26週	・台本研修（Ⅵ）「TVアニメーション『黒子のバスケ』Part3」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目）
	第27週	・台本研修（Ⅶ）「劇場アニメーション『名探偵コナン』Part1」シーン作り（アクションシーン研究） 「動×動」「緊張感」のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目）
	第28週	・台本研修（Ⅶ）「劇場アニメーション『名探偵コナン』Part2」シーン作り（アクションシーン研究） 「動×動」「緊張感」のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目）
	第29週	・台本研修（Ⅶ）「劇場アニメーション『名探偵コナン』Part3」シーン作り（アクションシーン研究） 「動×動」「緊張感」のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目）
	第30週	・台本研修（完結）「TVアニメーション『戦国BASARA』Part1」シーン作り（総合研究） ・「静×動」「バトル×タクティクス」等のシチュエーション/距離感を音声表現から学ぶ（第1回目）
	第31週	・台本研修（完結）「TVアニメーション『戦国BASARA』Part2」シーン作り（総合研究） ・「静×動」「バトル×タクティクス」等のシチュエーション/距離感を音声表現から学ぶ（第2回目）
	第32週	・台本研修（完結）「TVアニメーション『戦国BASARA』Part3」シーン作り（総合研究） ・「静×動」「バトル×タクティクス」等のシチュエーション/距離感を音声表現から学ぶ（第3回目）
	第33週	・「劇場アニメーション『エヴァンゲリオン～破～』コンテ画」トライアル（後期「実技査定」対策） ・声優本来のスタジオワークを現場仕様の台本テキストから学ぶ（1回限定）
第34週	・後期「実技査定」（発声/滑舌/調音/テンポ/表現力）➡全員で聴取～採点 ・自他の評価に対応する聴力/各指導内容の理解力等を養う（第2回目）	
教科書・教材	・上記アニメーション/外画作品に基き 担当教員がテキスト化したもの（※都度配布～回収）	
参考文献・資料	・「日本語発音アクセント 新辞典」NHK出版社	
履修上の留意点	教員の主観に依存せず、自発的/能動的に学び、研究する事が求められる。	